

せりよさ

好學 道義 根性



たゆまぬ努力を信じて

校長 福迫 真見



「幸運の女神は準備を整えた人にだけ微笑む」
 今年のノーベル物理学賞は、青色発光ダイオード（LED）の開発に功績のあった赤崎・天野・中村の三氏に決定した。

青色の実用化により、LEDの優れた性能は、照明など工業製品への応用範囲が劇的に拡がり、人類へ大きく貢献している。青色LEDは、60年代初めに発明されたが、青色の開発は困難を極めた。ほとんどの研究者が見切りをつける中、本県出身の赤崎勇教授は、十数年も諦めずに窒化ガリウムの結晶作りを続けていた。ある日、赤崎研究室の24歳の大学院生天野さんに、突然幸運の女神が微笑んだ。結晶を作る電気炉が壊れていたのが幸いして、偶然きれいな結晶ができたのだ。

実は失敗の中から大発見をした偶然は他にもある。2000年化学賞の白川教授は、触媒を千倍も加えた実験ミスで、電気を通すプラスチックを開発した。また田中研究員は、間違っって混ぜてしまったグリセリンとコバルトが、極微量のタンパク質の分析を可能にし、2002年の化学賞に輝いた。これらの偶然は、失敗を繰り返しながら成功を目指す粘り強さが生んだ必然だ。

研究や技術開発だけではない。人生は好きなことをやっても、小さな壁、大きな壁の繰り返しだ。それは暗闇の中で一筋の光を信じて進む孤独な戦いでもある。苦しくて「もうだめだ」と諦めてしまふのか、「もう一踏ん張り」とぎりぎり頑張るかで、人生が変わる。光を手に入れる。

高校生活は「もう一踏ん張り」を訓練する場でもある。勉強や練習に励み、勝負の時に最大の力を発揮する。そしてまた、反省の上、やり方を修正し挑む。諸君には、ひたむきさやたゆまぬ努力を信じて進む人間に成長して欲しい。

天は等しくチャンスを与えるが、謙虚な努力と準備を整えた者にしか、成功の偶然はない。女神の微笑みもない。

性教育講演会「デートDV」

10月14日

①「DV」には身体的暴力の他にどんな暴力がある？
 ②約束の時間に友達が遅れてきた！
 こんな時は「YOUメッ セージ」ではなく何メッ セージ？
 ③中絶ができるのは妊娠何週目まで？
 ④レイプの加害者が、実は被害者の知っている人だったという割合は？
 ⑤あなたが知っている性に関する情報の中で、間違っていたり勘違いしていたものは何個？
 どうだろうか？ちゃんと答えられたらどうか？
 当日配られた「あなたのココロとカラダを大切に」、谷崎和代先生（鹿児島県男女共同参



画センター）の講演内容が分かりやすくまとめているので、もう一度読み直してみよう。と、みなさんが書いた感想を讀むと、真つ直ぐに先生のお話を受け止めてくれたことが分かる。「自分はYOUメッセージを使うことが多かったなあ。」と自分がふり返ったり、「自分を大切にすることが他の人も大切にすることになるんだ。」と気がついたり、それから、「もし、友達に勇気を出して自分に相談してくれたい時は、最後までちゃんと話を聞いて、『あなたは何か悪くない』と言ってあげたい。』と書いてくれた人もいた。「自分の気持ちを大切にしよう。」「いろいろな考えがあってもいい。」「大事なことは、しっかり話そう。」「多くの情報があふれる現代。便利ながらもそれらに振り回されてしまっている自分。どうすれば自分や周りの人を大切にすることができるのか、それを考えるヒントを先生からもらった講演会だった。

校内弁論大会

生徒会文化部長 東山 永夢

日頃の生活や体験を通して気づき、考えたことを生徒の前で述べる「第60回校内弁論大会」が21日に行われた。各クラスから選出された9名の弁士が様々な考え、意見を発表してくれした。



「夢」や「命」、「平和」、「沖永良部島のこと」など、様々な演題での熱弁に心が揺れ動き、体育館全体が感動に包まれた。生徒たちも各弁士の堂々たる姿と考えに触れ、新しい発見をしたことだろう。大会担当者として思ったことがある。それは言葉の力は偉大だ。言葉の力は、自分の意見を人に伝える力だと思ふ。そして、伝えた人の心を揺さぶり、問いかけるのだ。

交通安全教室

10月8日(水)、沖永良部警察署交通課長にお越しいただき交通安全教室が行われた。今回は、交通課長の講話やDVDで原付の正しい乗り方について学んだ。最近では一年生も原付免許を取得し、沖高生はほとんどが原付通学をしている。自分の身近な乗り物でもあり、生徒たちもDVDや講話に真剣に耳を傾けていた。

この教室を通して、自動車目線からの原付の姿、原付目線での死角、乗る上での注意点など、原付を使用する上での危険性を再確認することができた。本校生徒も指導を受けることがあふ一時停止はもとより、

「君はどう思うだろうか？」と。そうして、言葉に問われて考え、自分の意見が生まれ、人を感動の輪の中に誘い込んでいく。各弁士の弁論を聞きながら、素直に感動し、改めて言葉の力の強さと厚みを感じた。その一方で、表情やジェスチャーなども、言葉の強さや厚みを助けるものだということを感じた。昨年は放送による大会だったので、言葉だけでメッセージを感じ取る必要があったが、今回はそれに他の要素も加わったことで、弁士のメッセージを寄り鮮明に感じ取ることができた。

体育館での開催は2年ぶりだったので、上手い具合に心配だったが、文化委員の皆が積極的に協力してくれて、無事成功させることができた。

この弁論大会で、弁士・役員・聴衆とそれぞれの立場で学べたことは多い。それを今後の学校生活に活かしていきたい。

審査の結果は以下の通りである。

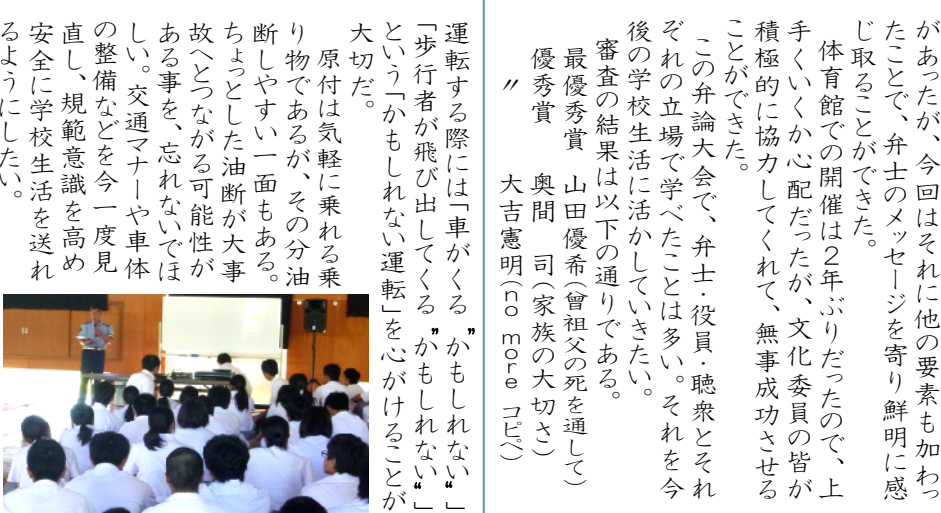
最優秀賞 山田優希(曾祖父の死を通して)

優秀賞 奥間 司(家族の大切さ)

大吉憲明(nomore コピ)

運動する際には「車がくる。かもしれない。」「歩行者が飛び出してくる。かもしれない。」「という「かもしれない運転」を心がけることが大切だ。

原付は気軽に乗れる乗り物であるが、その分油断しやすい一面もある。ちょっとした油断が大事故へとながら可能性のある事を、忘れないでほしい。交通マナーや車体の整備などを今一度見直し、規範意識を高め安全に学校生活を送れるようにしたい。



3年3組紹介(委員長 栗田良樹)

3年3組は男子14名、女子が19名、計33名のとても元気があり、活発なクラスだ。3年になって進路意識が高まり、以前より学習や生活態度が真剣になってきた。クラスマツチや文化祭等の行事では、持ち前の高い団結力を発揮し、成功へと導いた。現在は本田先生と吉松先生の指導の下、進路実現に向けて日々励んでいる。

商業科には就職のイメージがあるが、約半分が進学だ。入学してから一生懸命勉強し、取得してきた検定を武器に、進路の実現に向けて一歩ずつ歩み出している。残り少ない学校生活を有意義に過ごし、行事や検定試験等にも積極的に挑戦していきたい。



地区大会優勝おめでとう

バドミントン部(部長 宋村真寿)

私たちバドミントン部は、男子3名、女子10名、計13名で活動している。顧問の大迫・田代・太田・真子先生のもと、日々練習を頑張っている。9月に行われた地区大会で、女子は団体2連覇を達成でき、個人でも上位に入賞することができた。男子は、個人で優勝はできなかったが、今後の目標が見つかった。県の新人戦では、女子は団体ベスト16、個人戦では一人ひとりが上位を目指し、男子は個人戦のみの出場だが、自分たちのベストを尽くしたい。



11月行事予定表

1 (土)	進研模試(1・2年普)
2 (日)	進研模試(2年普)
3 (月)	文化の日
4 (火)	LHRせりよさ
5 (水)	
6 (木)	
7 (金)	運営委員会
8 (土)	進研マーク(3普)・英検2次
9 (日)	進研マーク(3普)
	開陽スクーリング
10 (月)	全校朝礼(服装容儀検査) 安全点検日
	3役会(同窓会) 校長室 19:00 地域への授業公開(14日)
11 (火)	
12 (水)	鹿児島交響楽団コンサート(10:00~12:00) 学年会
13 (木)	保健講話(8:50~10:30 体育館) 3限~45分授業
14 (金)	職員会議
15 (土)	土曜課外
	大島地区PTA研修会
16 (日)	日商簿記検定
	開陽スクーリング
17 (月)	1・2年PTA
	2年修学旅行説明会(5限)
	1年文理選択説明会(5・7限)
	PTA・生徒携帯講演会
	交通安全の日
18 (火)	学年朝礼
19 (水)	中高連絡会
20 (木)	
21 (金)	
22 (土)	代々木マーク(3普)
23 (日)	代々木マーク(3普)
	ビジネス文書実務検定
24 (月)	勤労感謝の日
	振替休日
25 (火)	期末考査①
26 (水)	期末考査② 沖高振興協議会
27 (木)	学校関係者評価委員会
28 (金)	期末考査③ 3年模試検討会
29 (土)	期末考査④ 防災訓練
30 (日)	開陽スクーリング